

稲城市 地域共生社会フォーラム
だれもが地域で安心して暮らせるために
～地域共生社会の実現にむけて～

- 1 日時 令和6年6月2日（日）午後2時から4時まで
- 2 場所 地域振興プラザ4階 会議室
- 3 内容

時間	内容	登壇者
14:00 ～14:15	挨拶・市説明	稲城市福祉部生活福祉課
14:15 ～15:45	講演「地域共生社会づくりと重層支援体制整備事業及びコミュニティソーシャルワーク」	日本社会事業大学名誉教授 大橋 謙策氏
15:45 ～16:00	質疑応答	

4 配布資料

- ・次第・講師プロフィール
- ・資料1 市説明資料
- ・資料2 講演資料
- ・アンケート

5 参考資料（当日は投影のみ。市ホームページに掲載）

- ・P,1 コミュニティソーシャルワーク機能修得研修・ロールプレイ課題
- ・P,2 生活の主体性を支える意思確認決定支援の構造
- ・P,3 演習④コミュニティソーシャルワークの展開と問題解決プログラム開発
問題解決プログラム開発・企画立案書
- ・P,4～5 「社会生活モデル」に基づくアセスメントの視点と枠組シート
- ・P,6 演習⑤日常生活圏域における支援システムの構築とソーシャルサポート
ネットワークの形成
- ・P,7 地域包括ケアとコミュニティソーシャルワーク
- ・P,8 ボランティア活動の構造

略 歴 (2024年4月現在)

1. 氏名 おおはし けんさく 大橋 謙策 (Ohashi Kensaku)
2. 職名 公益財団法人テクノエイド協会理事長、日本社会事業大学名誉教授
3. 生年月日 1943年10月26日生(80歳)
4. 学歴 1967年3月 日本社会事業大学社会福祉学部社会事業学科卒業
1973年3月 東京大学大学院教育学研究科博士課程(社会教育専攻)満期退学
5. 職歴 1970年4月 女子栄養大学助手
1974年4月 日本社会事業大学専任講師
1984年4月 日本社会事業大学教授
2005年4月 日本社会事業大学学長 (～2010年3月)
2010年4月 日本社会事業大学特任教授 (～2014年3月)
2011年4月 日本福祉大学客員教授 (～現在に至る)
2014年4月 東北福祉大学大学院教授 (～2020年3月)
2022年9月 日本医療大学客員教授 (～現在に至る)
6. 主な社会的活動(現任)
2009年10月 富山県福祉カレッジ学長
2011年7月 公益財団法人・テクノエイド協会理事長
2012年4月 富山県福祉推進顧問
- この間、日本学術会議第18期・19期会員(2000年～2005年)、日本社会福祉学会会長(1999年～2005年)、日本地域福祉学会会長(2002年～2008年)、日本福祉教育・ボランティア学習学会会長(1995年～1998年)等を歴任
- この間、東京大学大学院、九州大学大学院、同志社大学大学院、淑徳大学大学院、千葉大学、和光大学、聖心女子大学、成蹊大学で非常勤講師を務める
- この間、東京都生涯学習審議会会長(2001年～2009年)、一般社団法人全国社会教育委員連合会長(2003年～2017年)、埼玉県社会福祉審議会会長(2006～2010年)、日本地域福祉研究所理事長(1994年～2023年)等を歴任
7. 主な著書等
『社会教育と地域福祉』編著：全国社会福祉協議会、1978年2月
『地域福祉の展開と福祉教育』単著：全国社会福祉協議会、1986年
『福祉教育の理論と展開』共編著：光生館、1987年
『地域福祉』単著：放送大学教育振興会、1999年(1995年『地域福祉論』新訂版)
『地域福祉計画策定の視点と実践』編著：第一法規、1996年
『コミュニティソーシャルワークと自己実現サービス』共編著：万葉舎、2000年
『21世紀型トータルケアシステムの創造』共編著：万葉舎、2002年
『福祉21ピーナスプランの挑戦』共編著：中央法規出版、2003年
『日本のソーシャルワーク研究・教育・実践の60年』編集代表相川書房、2007年
『社会福祉入門』単著：放送大学教育振興会、2008年
『ケアとコミュニティ』編著、ミネルヴァ書房、2014年
『コミュニティソーシャルワークの理論と実践』共著、中央法規出版、2015年
『地域包括ケアの実践と展望』共編著、中央法規出版、2014年
『コミュニティソーシャルワークの新たな展開』共編著、中央法規出版、2019年
『ユニットケアの哲学と実践』共編著、日本医療企画、2019年
『地域福祉とは何かー哲学・理念・システムとコミュニティソーシャルワーク』
単著、中央法規出版、2022年
『福来の挑戦』監修・共著 中法規出版 2023年
『東日本大震災被災者への10年間のソーシャルワーク支援』監修・共著 2024年